教育実習カルテ　教育実習での学びをポートフォリオに

教員養成課程では、**教職入門実習**（1回生必修）、**基本実習**（3回生必修）、**併修実習**（4回生選択）と、学校インターンシップ活動を通じて、4年間の中で、教育実践力を培っていきます。学校での体験を通して学んだこと・考えたことを、大学の学びに活かしていきましょう。

教育実習の目標

［自己の育成］
教職に対する意欲、使命感や責任感、教育的愛情、自己教育力など

［子どもとの関わり］
子ども理解、生活（生徒）指導、学級経営や教科・保育内容等の指導力など

［教職員との関わり］
社会性や対人関係、コミュニケーション能力など

教育実習カルテは、それぞれの教育実習に沿って作成しています。
ここでは、教員養成課程の基本実習（小・中高）用の教育実習カルテを例示します。

◎教育協働学科、小学校教育専攻夜間コースにおける主な教育実習についても共通の内容になっています。

◎それぞれの教育実習は、実習校園からの評価と事前及び事後指導をあわせて評価します。

◎自分の到達目標を設定し、実習にのぞみましょう。実習終了後は、それぞれの指標について自分がどれだけ達成できたか、自己評価（4段階選択）を行いましょう。

◎実習校園からの評価についても、開示する予定です。

学校現場で学ぶこと

ポートフォリオをもとに大学の指導教員と面談

教師になるために必要な資質能力を身に付ける

生涯を通して日々成長を続ける教師であるためには、自らの意思によって自らの学びをデザインする力が必要となります。本学では、このような自らを育てる姿勢を培うため、履修カルテの活用を推進しています。履修カルテによって、これからの学習の目標を設定したり、学習の成果を蓄積したりしていくことで、自らの成長をふりかえり、次の目標の設定へと繋げることができます。

また、履修カルテでは、ふりかえりと目標の設定を効果的に行うことができるよう、教職に求められる資質能力を4つの指標と27の項目で提示しています。

4つの指標と27の項目を手掛かりに、教科・教職科目、ボランティア活動等を通して学んだことをふりかえり、自らの到達点と課題を明らかにしましょう。

4つの指標	27の項目
1. 学校教育の基礎的理解 ●教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。 ●子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。 ●学校教育に関する制度や経営的事項、並びに学校安全、特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 ●教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）、教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。	①教育の理念・教育史・思想の理解 ②教職の意義 ③人権教育 ④子どもの発達に関する理解 ⑤学校教育の社会的・制度的・経営的理解 ⑥学校安全・特別なニーズのある子どもの教育・英語教育 ⑦教育課程の編成及び方法に関する基礎理論・知識 ⑧情報機器の活用
2. 指導内容の理解と実践力 ●小学校・中学校・高等学校の各教科、保育、特別支援教育の各領域を指導するために必要な内容についての理解を深め、情報機器や教材の活用を含めた学習指導方法の基本を身に付けている。 ●学習環境の整備やアクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。 ●授業分析の基本を身に付け、教材研究を行いながら、学習指導や授業を構想することができる。	⑨各教科など ⑩教科書・学習指導要領 ⑪学習指導法 ⑫基礎知識・基礎学力 ⑬アクティブ・ラーニングについての理解 ⑭アクティブ・ラーニングを取り入れた指導 ⑮学習環境の整備 ⑯授業分析 ⑰教材研究・指導計画 ⑱指導技術・態度
3. 子どもへの対応の理解 ●子ども理解に基づいて、幼児・児童・生徒の指導、キャリア教育及び教育相談に関する理論及び実践的な方法について修得している。 ●特別な教育的ニーズや、いじめ、不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。 ●道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。	⑲学習集団の形成 ⑳幼児・児童・生徒の理解 ㉑個別・集団指導 ㉒生徒指導 ㉓道徳教育・特別活動
4. 教職力量を自らひらく力 ●実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。 ●自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し、将来への見通しや計画を立てることができる。 ●チーム学校の構成員として、他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。	㉔社会人としての基本 ㉕子どもに対する態度 ㉖学び続ける力 ㉗他者との連携・協力

養護教諭向けの「4つの指標」と「36の項目」は、別に設定されています。

国立大学法人 大阪教育大学

令和2年　入学生用

教師になるための学びの履歴と教育実習

□「ポートフォリオ」（履修カルテ、教育実習カルテ）とは？　P1・6
□「4年間積み上げ型」の教育実習とは？　P2
□ 卒業前の必修科目「教職実践実習」とは？　P3
□ 教師になるために必要な資質能力とは？　P7

履修カルテ　あなたの学びの軌跡をポートフォリオに

履修カルテは、大教UNIPA上のポートフォリオから利用します。下記の学習履歴シート、学修成果評価シート及び教職実践演習シートの3つのシートで構成されています。学習履歴シート、学修成果評価シートは、全学生が入力するものであり、履修した全ての授業科目について「学習のふりかえり」を入力するとともに教師になるために必要な資質・能力への到達度を確認します。また、教職実践演習シートは、教員免許状取得に必要な「教職実践演習」において、教師としての成長を見通す基礎的な資料となります。あなたの学びの履歴を、4年間にわたって、自分のデータ、他者評価、自己評価の視点から記録していきます。このカルテをもとに、指導教員との面談を通して自分の学びの軌跡を確認しましょう。教職実践演習シートは、取得予定の免許種に応じて入力が必要です（養護教諭一種免許状を取得予定の方は「教職実践演習シート（養護教諭）」を入力します）。

学習履歴シート　学修成果評価シート　教職実践演習シート　（オレンジ文字…学生記入箇所）

■授業科目の履修状況　年に2回、9月と3月に成績（素点と評価）が開示されます。それを見て、学習のふりかえりを記録します。

科目区分	授業科目名	単位数	修得年度	学期	担当教員名	素点	評価	学習のふりかえり
教職関連	教職入門	2.0	2018	前期	○○○○	85	優	教師の仕事のイメージが多様であることを学びました。また、観察実習では、先生の一日の大変さを実感しました。

自分のデータ

学習履歴シート　**学修成果評価シート**　教職実践演習シート

学修成果

■学修成果　（カリキュラムマップ）

成果指標	1回生	2回生	3回生	4回生
豊かな教養と広い視野	24%			
学校教育の基礎的理解	17%			
指導内容の理解と実践力	16%			
子どもへの対応の理解	0%			
教職力量を自らひらく力	0%			

全項目の学修成果の達成度が60%以上となるように努力しましょう。

■授業以外の実習やボランティア活動の状況　（行追加）

時期	内容	削除
2018年	近隣校の学童保育の補助を行っている。	削除

自分のデータ

■目標設定と指導教員のコメント

年度	学期	目標設定	指導教員コメント	担当教員名
2018年度	前期	入学間もないため、学びたい分野も漠然としている。この半年で学びたい分野を確立する。早く大学の授業に慣れるため、真面目に積極的に授業に参加する。	「秀」が4科目もあり、熱心に取り組んでいることがうかがえます。語学系の「秀」が2つあるのを活かしてほしいと思います。	△△△△

自分のデータと他者評価

学習履歴シート　学修成果評価シート　**教職実践演習シート**

■必要な資質能力についての自己評価　年に1回、3月に記録します。評価は4段階です。

必要な資質能力の指標 中項目	小項目	指標	自己評価（回生）			
学校教育の基礎的理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	1回生 4	2回生	3回生	4回生
指導内容の理解と実践力	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領（各教科など）の内容を理解していますか。	1回生 4	2回生	3回生	4回生

自己評価

教職実践演習とは

教員免許状取得の必修科目

教職実践演習とは、平成22年度入学生から教員免許状取得の必修科目として、最終年次に義務づけられているものです。

教職生活の円滑なスタートを

この科目は、皆さんが教員になる上で、自分にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることを目的としています。4年間で身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合・形成されたかについて最終的に確認し、教職生活の円滑なスタートを支援するものです。

授業の内容

教員として求められる基礎的事項として、下記の4事項について、学生自身が自己の状況を確認するための活動を含みます。

1. 使命感や責任感、教育的愛情などに関する事項
2. 社会性や対人関係能力に関する事項
3. 子ども理解や学級経営に関する事項
4. 教科・保育内容等の指導力に関する事項

授業の方法

授業では、下記の方法を必要に応じて適切に取り入れます。

1. フィールドワーク、グループ討議などの演習や実習、模擬授業
2. 役割演技(ロールプレイング)、事例研究等の授業方法
3. 現職の教員又は教員勤務経験者を講師とした授業等

POINT

学校インターンシップと教育実習による4年間の学校現場での実践的学修

併修実習　学校インターンシップ

時期…5月～11月［2週間］

※インターンシップ校園及び時期は、2回生と同様

テーマ別のインターンシップで専門性を深める

【選択必修】(中等教育専攻)

理数・ダイバーシティ(人種や多様性理解)のテーマを深める学校インターンシップを行います。自分の専門や関心を深めることができるとともに、テーマに沿った実践的な活動を行うことができます。

基本実習で身に付けた実践力にみがきをかける

【選択必修】(中等教育専攻)【選択】(小中教育専攻・養護教諭養成課程)

基本実習後の学校インターンシップでは特に、児童・生徒への指導や支援を充実させることができます。先生方の仕事の補助もきめ細やかに行うことができます。教師の卵としての力量を身に付ける最終仕上げの段階です。

4回生

基本実習　学校インターンシップ

時期…9月［3週間］

実習校園…附属学校、公立幼・小・中学校

※インターンシップ校園及び時期は、2回生と同様

学習指導と授業実践力を身に付ける

【必修】(初等教育教員養成課程・学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程)

児童・生徒の実態に応じた教材研究や授業づくりを経験することで、実践的な指導力を身に付けるとともに、教職の専門性を高めます。基本実習での学修は今後の教職への力と自信になります。

3回生

学校インターンシップ

時期…2月～1月［60時間］

インターンシップ校園…大阪府をはじめ、近隣県の公立幼・小・中・高特別支援学校、附属学校ほか

基本実習に備えて実践の基礎を身に付ける

【必修】(幼児教育専攻・小学校教育専攻基関・特別支援教育専攻)

【選択必修】(中等教育専攻)【選択】(小中教育専攻・養護教諭養成課程)

基本実習前の学校インターンシップは基本実習の準備段階と言えます。子どもとの関わりを深め、学級でのルールや子どもの様子を理解し、先生方の仕事の補助もします。

2回生

教職入門実習

時期…6月［1日］

実習校園…柏原市・八尾市・東大阪市・守口市・大阪市などの公立幼・小・中学校

教わる側から教える側へ視点を転換する

【必修】(初等教育教員養成課程(幼・小・昼)・学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程)

教師の視点で子どもに関わる経験をし、学校現場の教師の姿から子どもへの関わり方を学びます。得られた課題を学校インターンシップでさらに追究します。

1回生

※学校インターンシップは、所属する専攻や履修する回生などによって開講科目が異なります。

学校教育の現場へ

課題に応じた補完・発展学習の成果を確認 ▶ **第3ブロック「ふりかえり」**

個別課題に対応した補完・発展学習 ▶ **第2ブロック「ミニ講座」**

履修カルテによる自己分析・課題確認を行う ▶ **第1ブロック「ガイダンス」**

教職実践演習

教養養成課程のカリキュラム構成図

※授業科目名称及び開講回生は、所属する専攻・コースにより異なる場合があります。

教育協働学科

教員免許状取得を希望する学生は、卒業要件を満たすための科目以外に教員免許状を取得するための科目及び教職実践演習の履修が必要です。
教育実習は、4回生で、主として附属高等学校において行っています。

小学校教育専攻夜間 コース

5回生	教育実習Ⅱ(必修)	学校インターンシップⅢ	選択
4回生	教育実習Ⅰ(必修)	学校インターンシップⅡ	選択
3回生		学校インターンシップⅠ	選択
2回生		学校インターンシップ体験	必修
1回生	1日授業観察(必修)		

POINT

学びの確認/指導教員との面談

>>>P5「ポートフォリオと指導教員」をご覧ください。

教職実践に向けた学生1人1人の個別課題の克服

学びの確認
教科・教職科目・教育実習
学校インターンシップ
ボランティア活動等

ポートフォリオによる学びの履歴

面談
各学年 年2回(春・秋)

4回生

3回生

2回生

1回生

MESSAGE　ポートフォリオと指導教員

■ポートフォリオ(履修カルテ)を用いた指導や助言は、指導教員との面談で行います。

■平成22年度に履修カルテを導入してから、指導教員は、履修カルテを活用し、学生と個人面談を行い、皆さんの良好な大学生活が行えるように支援をしています。

■指導教員とは、入学から卒業までの間、継続的に面談を行うこととなっていますから、皆さんも積極的に相談をし、4回生の「教職実践演習」受講時には、自分の強みと課題を自己評価できるようにしましょう。

■**そのためにも、1回生の時から、ポートフォリオに自分の学びの履修をしっかりと記入しましょう。**

教育実習カレンダー

初等教育教員養成課程(幼・小・昼)・学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程

実習期間
インターンシップ活動期間

教育協働学科

小学校教育専攻 夜間コース